

さわだしおどり

沢田鹿踊

指定種別：市指定文化財

指 定 日：昭和 55 年 3 月 28 日

所 在 地：釜石市栗林町

保持団体：沢田新生会

開 始：元禄年間(1688～1703)

公開機会：釜石市郷土芸能祭等



沢田鹿踊は、約 330 年前、元禄年間(1688～1703)に、房州出身の唯喜伝治が栗林町沢田の善佐右衛門且助家にワラジを脱ぎ、以来この地に住みつき、沢田や砂子畑の若者が唯喜伝治(注)から鹿踊の教を受けたもので、勇壮な踊りとして定評で、現在まで踊り伝えられています。

唯喜伝治は享保 2 (1717)年に没しており、「享保二年 陶鮮霊塔也 十月十一日」と刻まれた墓碑があります。「陶鮮」は唯喜伝治の号です。

(注)資料によって「唯善伝治」と記されています。

